

# 金融機関の CSR ～NPO を対象として～

1130503 元川 翔太

高知工科大学マネジメント学部

## 1 概要

本研究は、筆者自身が来年度から金融機関で働くこともあり、「金融機関って地域に対する取り組みは一体何をやっているのだろう？」という疑問からスタートした。調べてみると CSR 活動によく似た活動を行っている NPO 法人に融資することが金融機関の CSR なのではと考えるようになった。そこで、金融機関の NPO 融資に対する一提案を行う。

## 2 背景

### 2.1 CSR

CSR とは **Corporate Social Responsibility** の略で、企業の社会的責任のことである。企業が事業活動において利益を優先するだけでなく、顧客、株主、従業員、取引先、地域社会などの様々なステークホルダーとの関係を重視しながら果たす社会貢献活動のことである。

### 2.2 金融機関の CSR レポートとその結果

表 1 金融機関の CSR ランキング(2012 年) 東洋オンライン

順位	社名	業種	総合得点(300)
1	東京海上ホールディングス	保険業	270.6
2	日本興亜損害保険	保険業	268
...	...	...	...
17	日本生命保険	保険業	225.1
18	三井住友ファイナンシャルグループ	銀行業	219.4
19	滋賀銀行	銀行業	219
20	八十二銀行	銀行業	212.4
21	T&Dホールディングス	保険業	209.7
...	...	...	...
25	SMBC日興証券	証券、商品先物取引業	191.8
26	京都銀行	銀行業	188.3
27	セブン銀行	銀行業	179.8
28	南都銀行	銀行業	174.1
29	ジェシービー	その他金融業	173.9
30	三菱UFJニコス	その他金融業	169.5

表 1 のランキングに載っている地方金融機関と、ランキングに載っていない地方金融機関の CSR レポートとを比較した。ランクインしている地方金融機関は活動内容がとて多く、地域活性化、環境保全に対する取り組みを詳細に記載しているのに対して、ランクインしていない地方金融機関はほとんど書かれておらず、あまり熱心に取り組んでいないように感じた。

そこで、ランクインした複数の地方金融機関と、そうではない地方金融機関の当期純利益や預金額の増減を調べてみた。

そこでわかったことは、金融機関の CSR 活動の評価(ランキング)は、当期純利益と預金額の増加・減少との間には、必ずしも相関関係があるとは言えないのである。金融機関が行っている CSR 活動自体に問題があるのではないかと感じた。折角 CSR 活動を行うのであれば、それは金融機関にとっても意義のあるものでなければならぬ。そこで、地域活性化や環境問題に対して取組みの深い NPO 法人の支援方法に着目した。

### 2.3 NPO

「NPO (Non Profit Organization)」とは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対して利益分配することを目的としない団体の総称である。したがって、収益を目的とする事業を行うこと自体は認められるが、事業で得た収益は、様々な社会貢献活動に充てることになる。様々な分野(福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など)で、社会ニーズに応える重要な役割を果たすことが期待されている。

しかし NPO 法人にも金融機関等からの融資を受けることがかなり難しいため、資金難といった問題点を抱えている。そんな NPO に融資をしているのが NPO バンクである。

### 2.4 NPO バンクの融資方法と融資基準

NPO バンクは、市民が自発的に出資した資金により、地域社会や福祉、環境保全のための活動を行う NPO や個人などに融資することを目的に設立された「市民の非営利バンク」のことで、「金融 NPO」「市民金融」などとも呼ばれている。

NPO バンクの運営の特徴は、趣旨に賛同する市民や NPO が組合員となり、1 口数万円単位の出資を行い、それを原資に NPO や個人に低利(1~5%程度)で融資する、ということである。出資者にとっては、元本保証がない、出資金を自由に引き出せない、などのデメリットもあるが、目に見える形で自分のお金が運用されることが最大の魅力となっている。

融資審査は、税理士などの専門家が財務面だけでなく、事業の社会性やオリジナリティといった多様な観点から行っている。融資申込者とは必要に応じて何度も面談し、融資実行後もウェブサイトやニュースレターを通して融資先を公開するなど、「顔の見える」関係づくりを心がけているため、NPO バンクでは貸

し倒れの発生は低率に抑えられている。

### 3 研究目的

金融機関の CSR 活動としての NPO 融資は実現可能かを明確にする。

NPO 融資が促進するように一提案を行う。

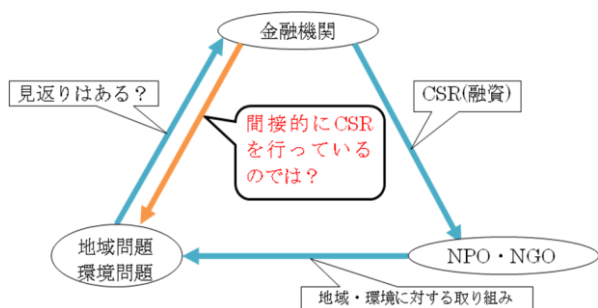


図1 研究目的

### 4 研究方法

#### 4.1 ヒアリング調査

文献調査を行った結果、地方金融機関が NPO バンクと同じような方法で NPO 法人に融資することができれば、NPO 法人の資金難の問題点を解消することができると考えられた。地方金融機関も本業である融資を行いながら、地域に対する取り組みにも協力することができるのである。そこで、NPO の方ならびに金融機関の方に聞き取り調査を行った。

#### 4.2 NPO 法人の池澤良子様へのヒアリング調査結果

金融機関にお金を借りることよりも、各 NPO 法人が出資者や会員からお金を調達することによって、地域住民が地域に対する関心をもっと向上させてほしいと願っている。

NPO 法人の方は、日本企業の CSR 活動は利益への見返りがなに行わないという姿勢に問題があると考えている。

NPO というだけで金融機関では融資対象外ということもあった。

金融機関が求める書類を準備できないときもある。

#### 4.3 地方金融機関の方のインタビュー結果

NPO バンクの融資方法を金融機関で適用させるのは難しい。実施できたとしても、金融機関が NPO バンクの競争相手になってしまう。それでは NPO バンクの持っているお金（会員等が出資をした地元のお金）で地域活動を行うということもできなくなってしまい、意味がないのかもしれない。

香川県で一度 NPO バンクをつくらうという動きがあったが書類面の難しさと断念したことがあったらしい。

ただし、実際 NPO バンクの数は足りない。

## 5 結果・考察・新提案

### 5.1 結果、考察

NPO バンクの融資方法は金融機関での採用はむずかしく、他の方法を考えていく必要がある。

お互いの機関（金融機関と NPO 法人）がお互いのことを理解していないことが明らかとなった。

NPO 法人としては融資してほしい時もあるが、実際に融資を受けるのは難しい。また、金融機関自体も、融資をする上で、「地域に貢献している活動を行っている NPO 法人だから」といった「割り切った」融資方法を検討する必要がある。

### 5.2 新たな提案

金融業界全体がもっと NPO 法人に対して興味を持ってもらうための場を提供する必要があると思われる。筆者自身、NPO 法人というものに対してあまり興味を持てなかったため、今回研究対象とするまで全くの無知であった。しかし、調査を始めて生の声を聞いていくうちに、もっと NPO 法人の方と交流しておけば良かったという後悔がある。

ここで、筆者自身が新たに提案したいのは、「地方金融機関（四国なら 4 つの県にある金融機関）の合同出資による NPO バンク設立」である。NPO バンクの社員も各金融機関からの出向という方式をとってもらいたいと思う。この NPO バンクでの融資のお金は地元住民による預金によるものなので、NPO 法人の方の地元のお金というも満たしていると考えられる。

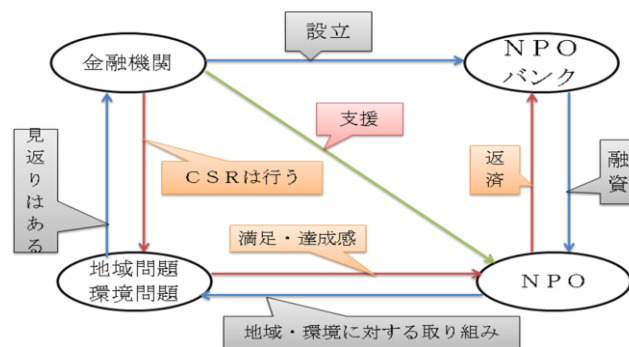


図2 新たな提案

また、NPO バンクはあくまでも NPO 法人であるので、金融機関と同じ様な仕事でありながら内容は NPO でもある。このような経験をしてもらうことが NPO に対する理解を深めてもらうことにもつながると考えられる。

### 参考文献

- [1] 滋賀銀行 八十二銀行 京都銀行 南都銀行 百五銀行 有価証券報告書(2012, 2010, 2008, 2006)
- [2] 愛媛銀行 ホームページ CSR 活動 <http://www.himegin.co.jp/furusato/index.html>
- [3] 上記の地方銀行 CSR レポート 2012